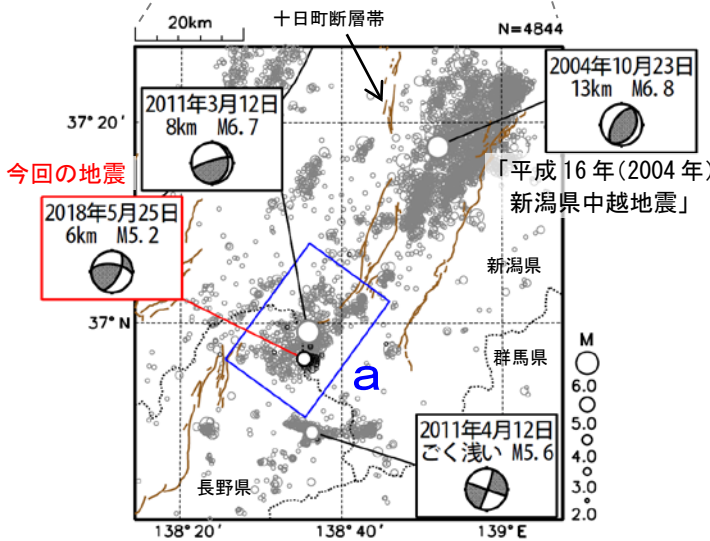


5月25日 長野県北部（長野県・新潟県県境付近）の地震



震央分布図
(1997年10月1日～2018年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 2.0$)
2018年5月の地震を濃く表示



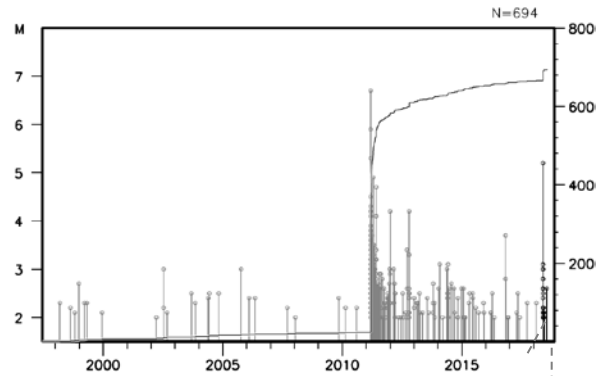
図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

2018年5月25日21時13分に長野県北部の深さ6kmでM5.2の地震（最大震度5強）が発生した。この地震は、地殻内で発生した。発震機構は北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。震源は、十日町断層帯の南端付近に位置している。この地震の発生後、6月31日までに震度1以上を観測する地震が20回（最大震度3：1回、最大震度2：6回、最大震度1：13回）発生するなど、6月はじめ頃にかけて地震活動が活発となった。

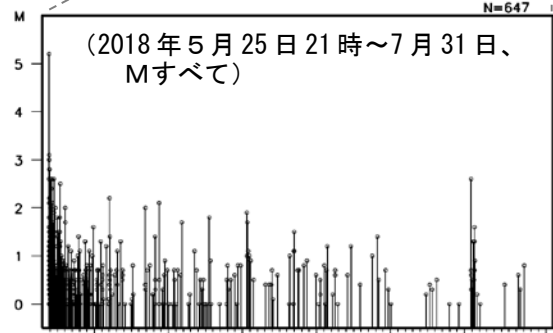
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、2011年3月12日にM6.7の地震（最大震度6弱）の地震が発生し、6月頃にかけて活発な地震活動がみられた。また、今回の地震の北東では、2004年10月23日に「平成16年（2004年）新潟県中越地震」（M6.8、最大震度7）が発生している。

1923年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域b）では、2011年3月12日の地震（M6.7）が発生するまで、あまり地震活動がみられていなかった。

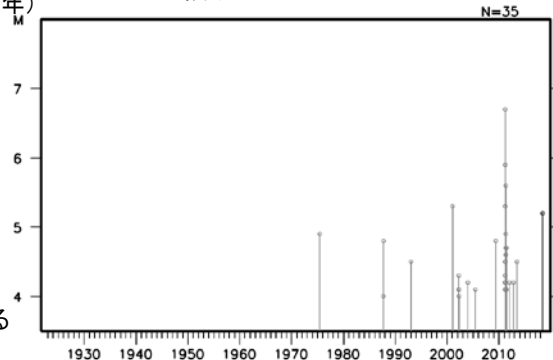
領域a内のM-T図及び回数積算図



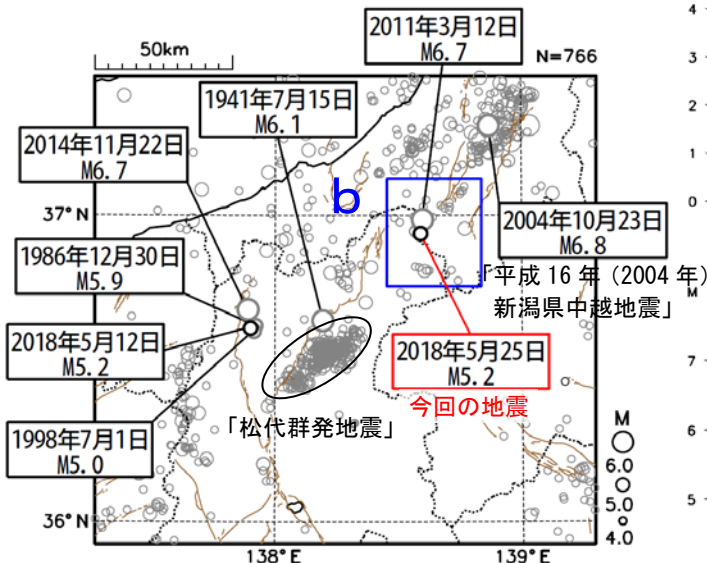
領域a内のM-T図



領域b内のM-T図



震央分布図
(1923年1月1日～2018年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.0$)
2018年5月の地震を濃く表示



図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。